

平成20年11月12日

## 神奈川県における爆発・火災事故について

11月9日(日)神奈川県内において、防災訓練中に屋外で煮炊釜に点火したところ、爆発的に着火し、訓練に参加していた住民3名が火傷(軽傷)を負う事故が発生した旨報告がありました。

### 1. 事故の概要

11月10日(月)高圧ガス保安法に基づき、液化石油ガス販売事業者(飯島商店)から神奈川県及び関東東北産業保安監督部に連絡があり、11月9日(日)神奈川県内において、以下の爆発・火災事故が発生した旨報告がありました。防災訓練中に屋外で煮炊釜を使用するため、器具栓を開いて点火しようとしたが着火しなかったため、鍋を外して点火用ライターでバーナーに点火したところ、爆発的に着火し、訓練に参加していた住民3名が火傷(軽傷)を負った。原因は、鍋を外した間に、開いたままの器具栓からガスが漏えいし、釜を支えていた円筒状のフード内へ滞留したガスに点火用ライターの火が引火したものと推定されますが、詳細は現在調査中です。

上記と同様の情報を原子力安全・保安院のホームページに掲載しますのでお知らせします。

### 【掲載箇所】

[http://www.nisa.meti.go.jp/9\\_citygas/gas\\_accident.htm](http://www.nisa.meti.go.jp/9_citygas/gas_accident.htm)

### 【掲載内容】

事業形態： 液化石油ガス販売事業

ガス種： LPガス

事故発生日時：平成20年11月9日(日)10時00分頃

事故発生場所：神奈川県

被害状況： 火傷(軽傷)3名

事故概要： 防災訓練中に屋外で煮炊釜を使用するため、器具栓を開い

て点火しようとしたが着火しなかったため、鍋を外して点火用ライターでバーナーに点火したところ、爆発的に着火し、訓練に参加していた住民3名が火傷（軽傷）を負った。原因は、器具栓を開いて鍋を外した間に、開いたままの器具栓からガスが漏えいし、釜を支えていた円筒状のフード内へ滞留したガスに引火したものと推定されるが、詳細は現在調査中。

機器分類：煮炊釜

（参考情報）

煮炊釜

製造者：服部工業株式会社

型式：GHRF26

製造年：1995年12月

## 2. 注意喚起について

器具を使用する際に着火しなかった場合は、再点火の際に、漏えいしたガスに引火して爆発するおそれがありますので、その点に注意して使用してください。

事故の発生のおそれがあるため、燃焼器を使用する際には、取扱説明書をよく読み、正しい方法で使用してください。

一般消費者の方は、液化石油ガスを使用する際、器具等の取扱いの説明をLPガス販売事業者から十分に受け、それに従って使用するようになしてください。

（本発表資料のお問い合わせ先）

原子力安全・保安院 液化石油ガス保安課

担当者：五十嵐、清水

電話：03-3501-1511（内線 4951～3）

03-3501-1672（直通）